

契約書第16/6号に基づく試験報告書兼所見書

「Gazel 983-93」のエンジン： 圧縮圧力が均一化 分解不要、通常運転のまま

ドニプロペトロウシク自動車輸送事業所11231（自動車輸送事業所11231）・処理実施：アズリート有限責任会社（社長I.V.エフィモフ）

ドニプロ市（ウクライナ）・2000年10月16日付契約書第16/6号・2001年1月11日付試験報告書兼所見書

製品

XADO技術®

分解不要のエンジン修復・再生
処理

処理対象

自動車「Gazel 983-93」

4気筒内燃機関・ピストン・シリンダ部および動弁機構

文書の種類

自動車輸送事業所11231の試験報告書兼所見書
両当事者の署名・押印付き

機械類

処理前の状態

測定項目

自動車「Gazel 983-93」（自動車輸送事業所11231輸送部門）

圧縮圧力の不均一（8.5～9.0 kgf/cm²、最低値は第II気筒）、動弁機構の騒音、潤滑油消費

処理前後の気筒別圧縮圧力（全4気筒）

処理は、アズリート有限責任会社の専門技術者が事業所構内において、通常運転のまま、エンジンを分解せずに実施した。

主な結果

↑ **0.2-0.5 kgf/cm²**

各気筒の圧縮圧力、8.5～9.0 → 9.0 kgf/cm²

気筒間の圧縮圧力の均一化

エンジンの気筒別圧縮圧力（kgf/cm²）

気筒	処理前	処理後	変化量
I	9.0	9.0	—
II	8.5	9.0	+0.5
III	8.8	9.0	+0.2
IV	8.8	9.0	+0.2
気筒間のばらつき	0.5	0	-0.5

第I気筒は処理前から**9.0 kgf/cm²**の水準にあり、処理後は残る3気筒がこの値まで上昇した。

試験報告書兼所見書の結論

処理開始時点で、エンジンは圧縮圧力が不均一であり、動弁機構に騒音が生じていた。圧縮圧力は物理的にメーカー規定値を超えて上昇しないため、全4気筒が**9.0 kgf/cm²**に達したことは、このエンジンで達成し得る上限である。自動車輸送事業所11231およびアズリート有限責任会社は、以下の結果を試験報告書兼所見書に記録し、XADO技術®による計画的な予防保全作業を事業所の自動車の計画保全に組み込むことを推奨した。1. 全気筒の圧縮圧力が明確に均一化した。2. 動弁機構の騒音が消失した。3. 達成された燃料消費量の削減は**10%**であった。4. 潤滑油消費量はゼロに近い。5. エンジンの加速応答性が向上した。

XADO

© XADO。無断転載・複製禁止。
本結果は、自動車輸送事業所11231の運用条件下における自動車「Gazel 983-93」のガソリンエンジンに関するものである。他の機械類や、各部の状態が異なる条件では、測定値が異なる場合がある。両当事者の署名・押印付きの試験報告書兼所見書の原本は全文を公開しており、ダウンロードが可能である。